

令和4年度 東京都青年期実態調査 報告書

I 目的

青年期の都民の歯科保健行動・生活習慣及び歯科保健に関する意識について把握することにより、東京都歯科保健推進計画「いい歯東京」の達成度を評価するとともに、今後の歯科保健医療対策の推進に必要な課題等を把握し、次期歯科保健推進計画を策定するための基礎資料を得ることを目標とする。

II 対象及び方法

1 対象者

対象者は、都内在住(島しょを除く)の18歳から30歳までの男女2,400人である。

2 実施方法

令和4年10月12日から14日に、民間のインターネット調査会社が有するアンケートモニターに対して、歯科保健行動・生活習慣及び歯科保健に対する意識に関するインターネット調査を行った。

なお、回答者については、都内の18歳から30歳までの人口割合(性別・年代・居住地区)に基づき層化無作為抽出し、最終的に総数2,400人になるように行った。

3 調査項目

- ・回答者の年齢・性及び居住地域
- ・全身の健康状態
- ・心のストレス状態
- ・歯・口の健康状態
- ・かかりつけ歯科医の状況と受診状況
- ・フッ化物添加歯磨剤の使用状況
- ・歯口清掃状況
- ・歯・口の自己観察状況
- ・喫煙状況
- ・喫煙の歯周病への影響についての意識
- ・糖尿病と歯周病との関係についての意識
- ・歯周病と全身疾患との関係についての意識
- ・永久歯の喪失状況

- ・8020 の認知状況
- ・よく目にする広告媒体

4 解析

調査結果の解析は、日本大学歯学部 尾崎哲則客員教授、日本大学歯学部衛生学講座 川戸貴行教授が行った。

III 結果

1 回答者数及び性別・年齢

表 1 に、性・年齢階級別の回答者数を示す。調査回答者数は、総数で 2400 人であり、男性 1192 人、女性 1208 人、男女比は各年齢階級とも、ほぼ一対一であった。

表1 回答数および性・年齢階級

(人)			
年齢階級	男性	女性	総数
18～25	669	697	1366
26～30	523	511	1034
総数	1192	1208	2400

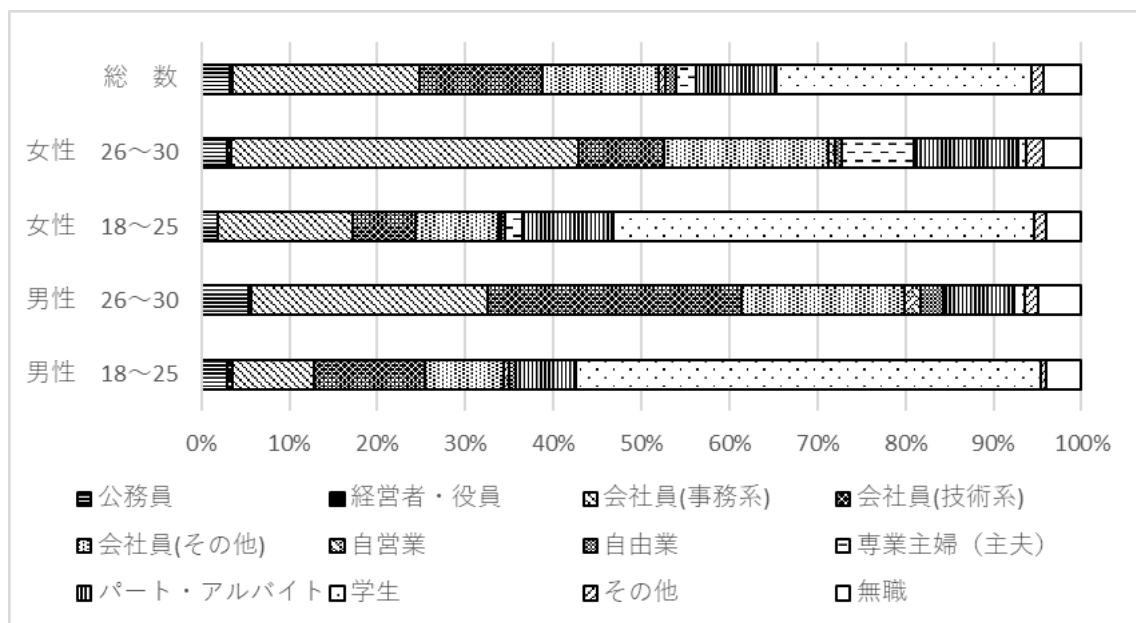
2 回答者の職業

表 2・図 1 に、回答者の職業を、性・年齢階級別に示す。18～25 歳の年齢階級では、男女ともに学生が約 50%を示したが、26～30 歳では約 1%であった。一方、26～30 歳では、男女ともに会社員(事務系・技術系・その他)が約 70%を占めていたが、18～25 歳では、男女ともに約 30%であった。

表2 回答者の性・年齢階級別の職業

年齢階級	(人)						
	男性		女性		総数		総数
	18~25	26~30	18~25	26~30	18~25	26~30	
公務員	20 3.0%	28 5.4%	13 1.9%	15 2.9%	33 2.4%	43 4.2%	76 3.2%
経営者・役員	4 0.6%	2 0.4%	0 0.0%	2 0.4%	4 0.3%	4 0.4%	8 0.3%
会社員(事務系)	61 9.1%	140 26.8%	107 15.4%	202 39.5%	168 12.3%	342 33.1%	510 21.3%
会社員(技術系)	85 12.7%	151 28.9%	50 7.2%	50 9.8%	135 9.9%	201 19.4%	337 14.0%
会社員(その他)	59 8.8%	97 18.5%	65 9.3%	95 18.6%	124 9.1%	192 18.6%	316 13.2%
自営業	5 0.7%	9 1.7%	2 0.3%	4 0.8%	7 0.5%	13 1.3%	20 0.8%
自由業	5 0.7%	14 2.7%	4 0.6%	4 0.8%	9 0.7%	18 1.7%	27 1.1%
専業主婦(主夫)	0 0.0%	1 0.2%	13 1.9%	42 8.2%	13 1.0%	43 4.2%	56 2.3%
パート・アルバイト	45 6.7%	41 7.8%	72 10.3%	60 11.7%	117 8.6%	101 9.8%	218 9.1%
学生	353 52.8%	6 1.1%	333 47.8%	5 1.0%	686 50.2%	11 1.1%	697 29.0%
その他	4 0.6%	8 1.5%	10 1.4%	10 2.0%	14 1.0%	18 1.7%	32 1.3%
無職	27 4.0%	26 5.0%	28 4.0%	22 4.3%	55 4.3%	48 4.7%	103 4.3%

図1 回答者の性・年齢階級別の職業の割合



3 回答者の居住地域

表3に、回答者の居住地域を性・年齢階級別に示す。全体では、特別区が約70%、多摩地区が約30%であり、いずれの性・年齢階級でもほぼ同様であった。

表3 回答者の性・年齢階級別居住地域

性・年齢階級		区部		多摩	
		人	%	人	%
男性	18～25	469	70.1	200	29.9
男性	26～30	400	76.5	123	23.5
男性	総数	869	72.9	323	27.1
女性	18～25	487	69.9	210	30.1
女性	26～30	399	78.1	112	21.9
女性	総数	886	73.3	322	26.7
総数		1755	73.1	645	26.9

4 全身の健康状態

表4に、全身の健康状態を示す。性・年齢階級による差はあまり見られず、「よい」と「まあよい」を合わせると80%以上であった。

表4 Q1 全体的にみて、あなたの健康状態はいかがですか（回答は一つ）

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	
	人数									
	よい	252	155	407	217	138	355	469	293	762
	まあよい	320	269	589	366	283	649	686	552	1238
	あまりよくない	80	78	158	96	75	171	176	153	329
	よくない	17	21	38	18	15	33	35	36	71
	%									
	よい	37.7	29.6	34.1	31.1	27.0	29.4	34.3	28.3	31.8
	まあよい	47.8	51.4	49.4	52.5	55.4	53.7	50.2	53.4	51.6
	あまりよくない	12.0	14.9	13.3	13.8	14.7	14.2	12.9	14.8	13.7
	よくない	2.5	4.0	3.2	2.6	2.9	2.7	2.6	3.5	3.0

5 心のストレスレベル

表 5 に、心のストレスレベルを示す。女性の 18～25 歳の階級は他に比べて、「多い」と「やや多い」が、若干高い傾向がみられた。

表5 Q2 あなたが抱えている心のストレスはどの程度ですか。（回答は一つ）

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	
人数	多い	99	95	194	147	90	237	246	185	431
	やや多い	282	224	506	323	244	567	605	468	1073
	やや少ない	182	154	336	176	143	319	358	297	655
	少ない	106	50	156	51	34	85	157	84	241
%	多い	14.8	18.2	16.3	21.1	17.6	19.6	18.0	17.9	18.0
	やや多い	42.2	42.8	42.4	46.3	47.7	46.9	44.3	45.3	44.7
	やや少ない	27.2	29.4	28.2	25.3	28.0	26.4	26.2	28.7	27.3
	少ない	15.8	9.6	13.1	7.3	6.7	7.0	11.5	8.1	10.0

6 歯・口の健康状態

(1) 自身の歯・口の状態

図2-1・表6に、歯・口の状態について、本人の認識状況を示す。全体では、「ほぼ満足」が34%、「やや不満だが日常生活には困らない」が57%、「不自由や苦痛を感じている」が9%であった。性・年齢階級別でみると、「ほぼ満足」では、男性18～25歳の階級において38%で最も高く、女性26～30歳の階級では30.5%と最も低かった。男性が女性に比べてほぼ満足の割合が高く、増齢とともに低くなる傾向がみられた。

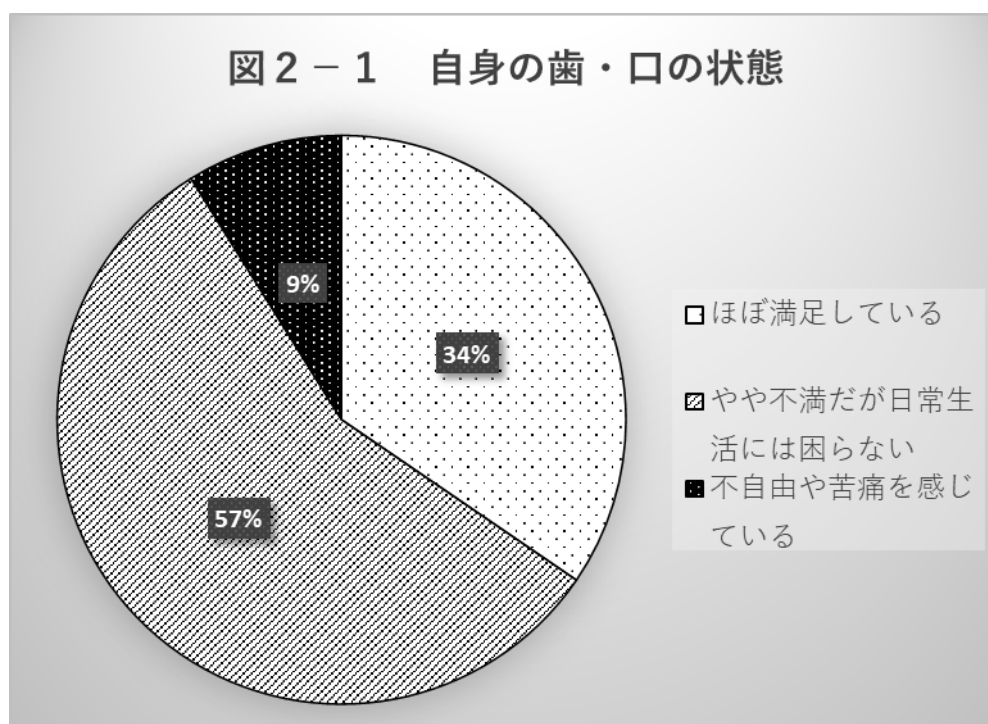


表6 Q3-1 あなたは、御自身の歯・口の状態について、どのように感じていますか。

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	
人数	ほぼ満足している	254	181	435	238	156	394	492	337	829
	やや不満だが日常生活には困らない	364	279	643	395	280	675	759	559	1358
	不自由や苦痛を感じている	51	63	114	64	35	99	115	98	213
%	ほぼ満足している	38.0	34.6	36.5	34.1	30.5	32.6	36.0	32.6	34.5
	やや不満だが日常生活には困らない	54.4	53.3	53.9	56.7	54.8	55.9	55.6	54.1	56.6
	不自由や苦痛を感じている	7.6	12.0	9.6	9.2	6.8	8.2	8.4	9.5	8.9

(2)「満足」していない者の愁訴

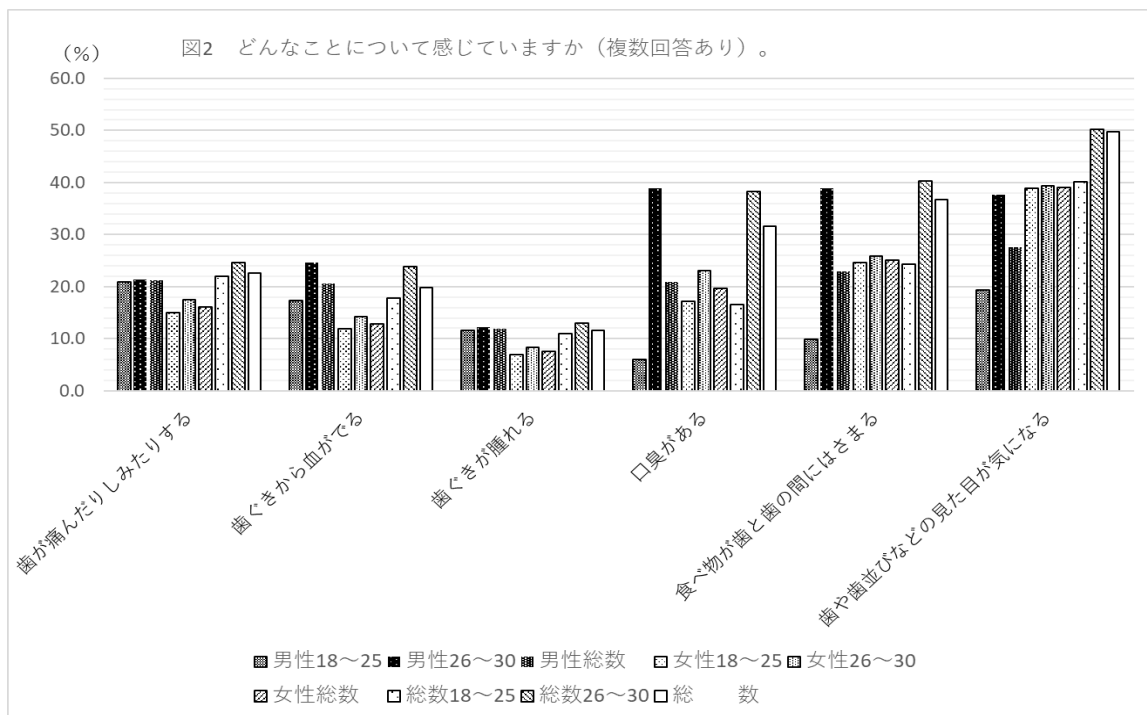
表 7・図 2 に、「満足している」以外を回答した者の愁訴について示す。「歯の痛み」、「歯肉出血」、「歯肉の腫脹」については、男性の方が高く、増齡的に多くなる傾向がみられた。「口臭」、「食片圧入」については、女性の方が若干高く、増齡的に多くなる傾向が見られた。

また、「摂食・嚥下機能」や「構音機能」障害も数%見られており、男性の方が若干高かった。さらに、「審美的問題」は、男性 18～25 歳では約 20%であったが、これ以外の階級では約 40%と高い値を示していた。なお、「嘔む、味わう、飲み込むことに不自由がある」、「話すことに不自由がある」、「その他」については、総数が少ないために、図 2 に表記しなかった。

表7 Q3-2 あなたは、歯・口の状態に満足していないと回答されましたが、どんなことについて感じていますか。すべてお選びください。

(n=1571)

性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数
	人数								
歯が痛んだりしんだりする	87	73	160	105	89	194	192	162	354
歯ぐきから血がでる	72	84	156	83	73	156	155	157	312
歯ぐきが腫れる	48	42	90	48	43	91	96	85	181
口臭がある	25	133	158	120	118	238	145	251	496
食べ物が歯と歯の間にはさまる	41	133	174	172	132	304	213	265	578
噛む、味わう、飲み込むことに不自由がある	20	19	39	20	14	34	40	33	73
話すことに不自由がある	12	8	20	7	5	12	19	13	32
歯や歯並びなどの見た目が気になる	80	129	209	271	201	472	351	330	781
その他	19	14	33	23	13	36	42	27	69
%									
歯が痛んだりしんだりする	21.0	21.3	21.1	15.1	17.4	16.1	22.0	24.7	22.5
歯ぐきから血がでる	17.3	24.6	20.6	11.9	14.3	12.9	17.7	23.9	19.9
歯ぐきが腫れる	11.6	12.3	11.9	6.9	8.4	7.5	11.0	12.9	11.5
口臭がある	6.0	38.9	20.9	17.2	23.1	19.7	16.6	38.2	31.6
食べ物が歯と歯の間にはさまる	9.9	38.9	23.0	24.7	25.8	25.2	24.4	40.3	36.8
噛む、味わう、飲み込むことに不自由がある	4.8	5.6	5.2	2.9	2.7	2.8	4.6	5.0	4.6
話すことに不自由がある	2.9	2.3	2.6	1.0	1.0	1.0	2.2	2.0	2.0
歯や歯並びなどの見た目が気になる	19.3	37.7	27.6	38.9	39.3	39.1	40.2	50.2	49.7
その他	4.6	4.1	4.4	3.3	2.5	3.0	4.8	4.1	4.4



7 かかりつけ歯科医の状況

(1) かかりつけ歯科医を決めている

ア かかりつけ歯科医を決めている割合

表 8 に、かかりつけ歯科医を決めている割合を示す。男性で約 44%、女性で約 50%であり、若干、女性が高かった。

表8 Q4-1 あなたは、かかりつけ歯科医を決めていますか。

性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数
決めている人数	297	226	523	350	256	606	647	482	1129
決めている人数%	44.4	43.2	43.9	50.2	50.1	50.2	47.4	46.6	47.0

イ かかりつけ歯科医にかかっている期間

表 9 に、かかりつけ歯科医にかかっている期間を示す。総数で見ると「3年以上」が約 43%で最も多く、18~25歳の階級は約 50%、26~30歳の階級では約 35%であった。一方「2年以内」・「1年以内」・「半年以内」は、26~30歳の階級の方が高く、かかりつけ期間が 18~25歳よりも短い傾向が見られた。すなわち、年齢階級でかかりつけ歯科医への通院歴に大きな差があった。

表9 Q4-2 その「かかりつけ歯科医」には、いつから通っていますか。

(n=1129)

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	
人数	半年以内	63	56	119	60	65	125	123	121	244
	1年以内	47	51	98	57	41	98	104	92	196
	2年以内	40	44	84	46	54	100	86	98	184
	3年以上	146	73	219	182	95	277	328	168	496
	その他	1	2	3	5	1	6	6	3	9
%	半年以内	21.2	24.8	22.8	17.1	25.4	20.6	19.0	25.1	21.6
	1年以内	15.8	22.6	18.7	16.3	16.0	16.2	16.1	19.1	17.4
	2年以内	13.5	19.5	16.1	13.1	21.1	16.5	13.3	20.3	16.3
	3年以上	49.2	32.3	41.9	52.0	37.1	45.7	50.7	34.9	43.9
	その他	0.3	0.9	0.6	1.4	0.4	1.0	0.9	0.6	0.8

ウ かかりつけ歯科医への直近の受診状況

表 10 に、かかりつけ歯科医への直近の受診状況を示す。「1 か月未満」・「1 か月以上～6 か月未満」の合計は、いずれの性・年齢階級でも 60%を超えていた。更に、「6 か月～1 年未満」を加えると約 80%であり、1 年に複数回、受診している状況がうかがえた。

表10 Q4-3 直近でその「かかりつけ歯科医」にかかられたのはいつですか。

(n=1129)

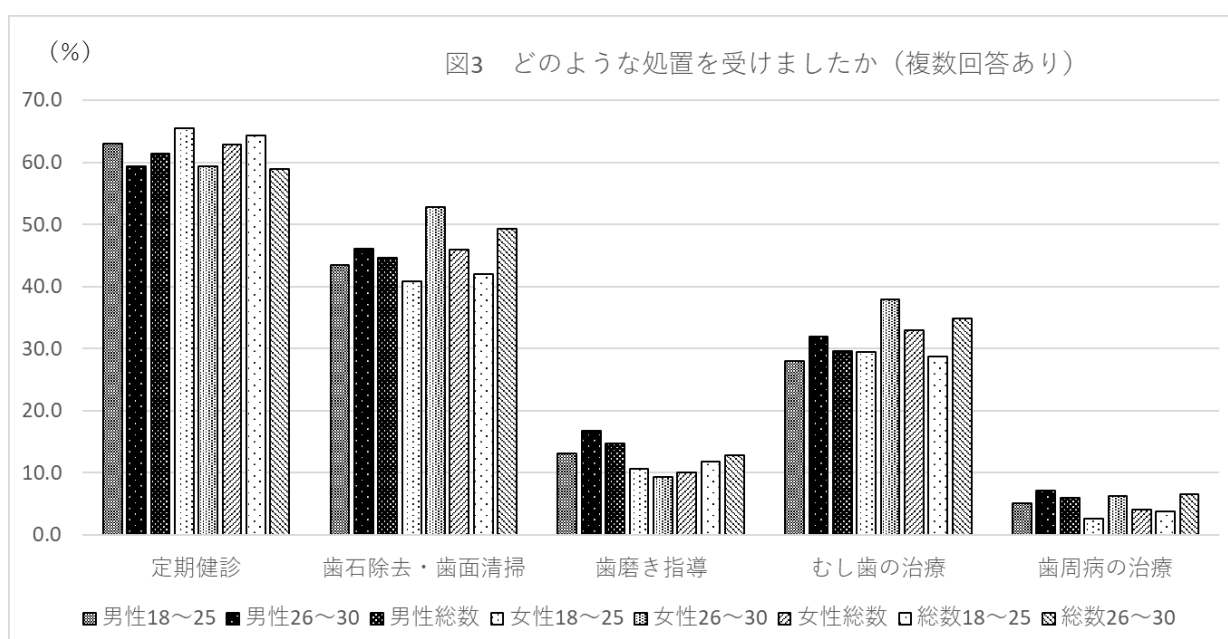
性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数
	人数								
1か月未満	62	41	103	82	68	150	144	109	253
1か月以上～6か月未満	114	105	219	137	108	245	251	213	464
6か月以上～1年未満	47	32	79	44	42	86	91	74	165
1年以上～3年未満	38	26	64	48	20	68	86	46	132
3年以上前	33	19	52	36	18	54	69	37	106
その他	3	3	6	3	0	3	6	3	9
%									
1か月未満	20.9	18.1	19.7	23.4	26.6	24.8	22.3	22.6	22.4
1か月以上～6か月未満	38.4	46.5	41.9	39.1	42.2	40.4	38.8	44.2	41.1
6か月以上～1年未満	15.8	14.2	15.1	12.6	16.4	14.2	14.1	15.4	14.6
1年以上～3年未満	12.8	11.5	12.2	13.7	7.8	11.2	13.3	9.5	11.7
3年以上前	11.1	8.4	9.9	10.3	7.0	8.9	10.7	7.7	9.4
その他	1.0	1.3	1.1	0.9	0.0	0.5	0.9	0.6	0.8

エ かかりつけ歯科医への直近の受診時に受けた処置

表 11・図 3 に、かかりつけ歯科医への直近の受診時に受けた処置について示す。全体では、「定期健診」が約 60%、「歯石除去・歯面清掃」が約 45%、「むし歯の治療」約 30%であった。年齢階級で見ると、「定期健診」は 18～25 歳が 5 ポイントほど高いが、「歯石除去・歯面清掃」、「むし歯の治療」では、26～30 歳が 6 ポイントほど高かった。これにより、かかりつけ歯科医への受診理由が、年齢階級によって異なることが示唆された。なお、図 3 には、「その他」を表記しなかった。

表11 Q4-4 その際、どのような処置を受けましたか。該当する項目をすべてお選びください。(n=1129)

性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数
	人数								
定期健診	187	134	321	229	152	381	416	286	702
歯石除去・歯面清掃	129	104	233	143	135	278	272	239	511
歯磨き指導	39	38	77	37	24	61	76	62	138
むし歯の治療	83	72	155	103	97	200	186	169	355
歯周病の治療	15	16	31	9	16	25	24	32	56
その他	15	6	21	36	25	61	51	31	82
%									
定期健診	63.0	59.3	61.4	65.4	59.4	62.9	64.3	59.0	62.2
歯石除去・歯面清掃	43.4	46.0	44.6	40.9	52.7	45.9	42.0	49.3	45.3
歯磨き指導	13.1	16.8	14.7	10.6	9.4	10.1	11.7	12.8	12.2
むし歯の治療	27.9	31.9	29.6	29.4	37.9	33.0	28.7	34.8	31.4
歯周病の治療	5.1	7.1	5.9	2.6	6.3	4.1	3.7	6.6	5.0
その他	5.1	2.7	4.0	10.3	9.8	10.1	7.9	6.4	7.3



オ かかりつけ歯科医への通常の受診での処置

表 12 に、かかりつけ歯科医で普段、受ける処置の割合を示す。「定期健診」については、全体で約 70%と最多であり、男性で約 65%、女性で約 74%と、女性が高かった。また、「歯石除去・歯面清掃」は、全体で約 55%、18～25 歳で約 51%、26～30 歳で約 62%であり、「むし歯の治療」も、全体で約 38%、18～25 歳で約 35%、26～30 歳で約 43%と、両項目とも 26～30 歳で高かった。

表12 Q4-5 普段、「かかりつけ歯科医」では、どのような処置を受けていますか？すべてお選びください。

(n=1129)

性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数
	人数								
定期健診	199	141	340	253	194	447	452	335	787
歯石除去・歯面清掃	145	132	277	183	166	349	328	298	626
歯磨き指導	48	42	90	65	39	104	113	81	194
むし歯の治療	99	90	189	124	119	243	223	209	432
歯周病の治療	18	15	33	12	22	34	30	37	67
その他	12	5	17	35	12	47	47	17	64
%									
定期健診	67.0	62.4	65.0	72.3	75.8	73.8	69.9	69.5	69.7
歯石除去・歯面清掃	48.8	58.4	53.0	52.3	64.8	57.6	50.7	61.8	55.4
歯磨き指導	16.2	18.6	17.2	18.6	15.2	17.2	17.5	16.8	17.2
むし歯の治療	33.3	39.8	36.1	35.4	46.5	40.1	34.5	43.4	38.3
歯周病の治療	6.1	6.6	6.3	3.4	8.6	5.6	4.6	7.7	5.9
その他	4.0	2.2	3.3	10.0	4.7	7.8	7.3	3.5	5.7

カ かかりつけ歯科医での定期健診の間隔

表 13 に、かかりつけ歯科医での定期健診の受診間隔について示す。年3回以上受診している者は、全体で約 52%であるが、18～25 歳で約 49%、26～30 歳で約 57%であり、26～30 歳で高かった。そのため、1 年に 1 回程度は、18～25 歳で高かった。

表13 Q4-6 定期健診は、どのくらいの間隔で、受診していますか。 (n=1129)

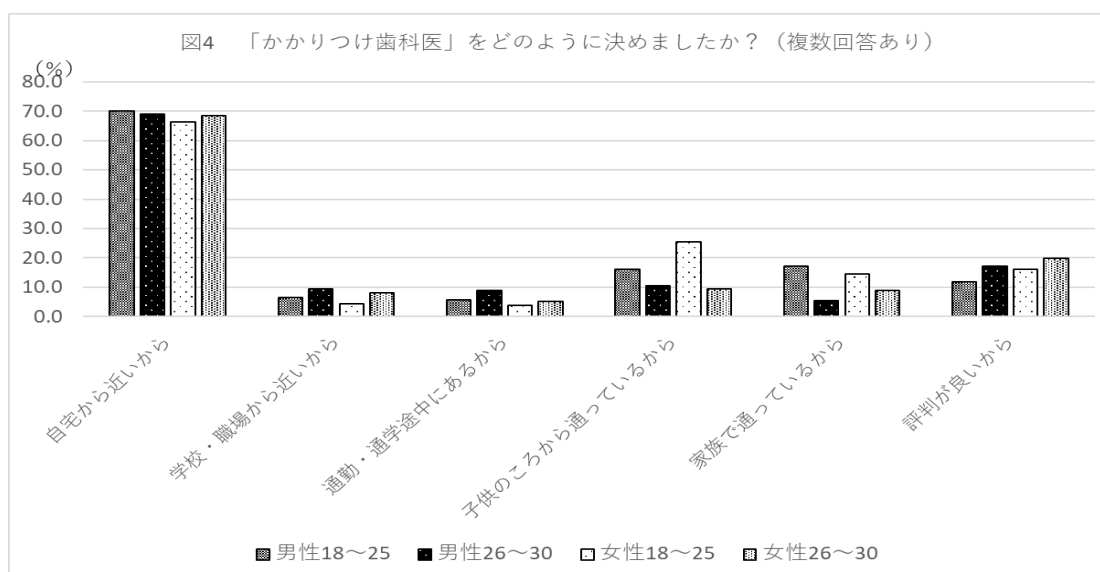
性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数
	人数								
1か月に一回程度	24	10	34	28	19	47	52	29	81
3か月に一回程度(年4回)	49	44	93	71	72	143	120	116	236
4か月に一回程度(年3回)	20	25	45	29	21	50	49	46	95
半年に一回程度	57	40	97	70	53	123	127	93	220
1年に一回程度	43	21	64	49	28	77	92	49	141
その他	6	1	7	6	1	7	12	2	14
%									
1か月に一回程度	12.1	7.1	10.0	11.1	9.8	10.5	11.5	8.7	10.3
3か月に一回程度(年4回)	24.6	31.2	27.4	28.1	37.1	32.0	26.5	34.6	30.0
4か月に一回程度(年3回)	10.1	17.7	13.2	11.5	10.8	11.2	10.8	13.7	12.1
半年に一回程度	28.6	28.4	28.5	27.7	27.3	27.5	28.1	27.8	28.0
1年に一回程度	21.6	14.9	18.8	19.4	14.4	17.2	20.4	14.6	17.9
その他	3.0	0.7	2.1	2.4	0.5	1.6	2.7	0.6	1.8

キ かかりつけ歯科医を決めた理由

表 14・図 4 に、かかりつけ歯科医を決めた理由を示す。全体の約 68%が「自宅から近いから」を選択し、いずれの性・年齢階級でも同様であった。「子供のころから通っている」と「家族で通っている」では、18～25 歳が 26～30 歳よりも、それぞれ 11 ポイント、8 ポイント高かった。このことにより、就業することによって、学生の頃からのかかりつけ歯科医を変更する状況がうかがわれた。なお、図 4 では、「その他」を表示しなかった。

表14 Q4-7 「かかりつけ歯科医」をどのように決めましたか？すべてお選びください。 (n=1129)

性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数
人数									
自宅から近いから	208	156	364	232	175	407	440	331	771
学校・職場から近いから	19	21	40	15	21	36	34	42	76
通勤・通学途中にあるから	17	20	37	13	13	26	30	33	63
子供のころから通っているから	48	24	72	89	24	113	137	48	185
家族で通っているから	51	12	63	51	23	74	102	35	137
評判が良いから	35	39	74	56	51	107	91	90	181
その他	4	2	6	13	12	25	17	14	31
%									
自宅から近いから	70.0	69.0	69.6	66.3	68.4	67.2	68.0	68.7	68.3
学校・職場から近いから	6.4	9.3	7.6	4.3	8.2	5.9	5.3	8.7	6.7
通勤・通学途中にあるから	5.7	8.8	7.1	3.7	5.1	4.3	4.6	6.8	5.6
子供のころから通っているから	16.2	10.6	13.8	25.4	9.4	18.6	21.2	10.0	16.4
家族で通っているから	17.2	5.3	12.0	14.6	9.0	12.2	15.8	7.3	12.1
評判が良いから	11.8	17.3	14.1	16.0	19.9	17.7	14.1	18.7	16.0
その他	1.3	0.9	1.1	3.7	4.7	4.1	2.6	2.9	2.7



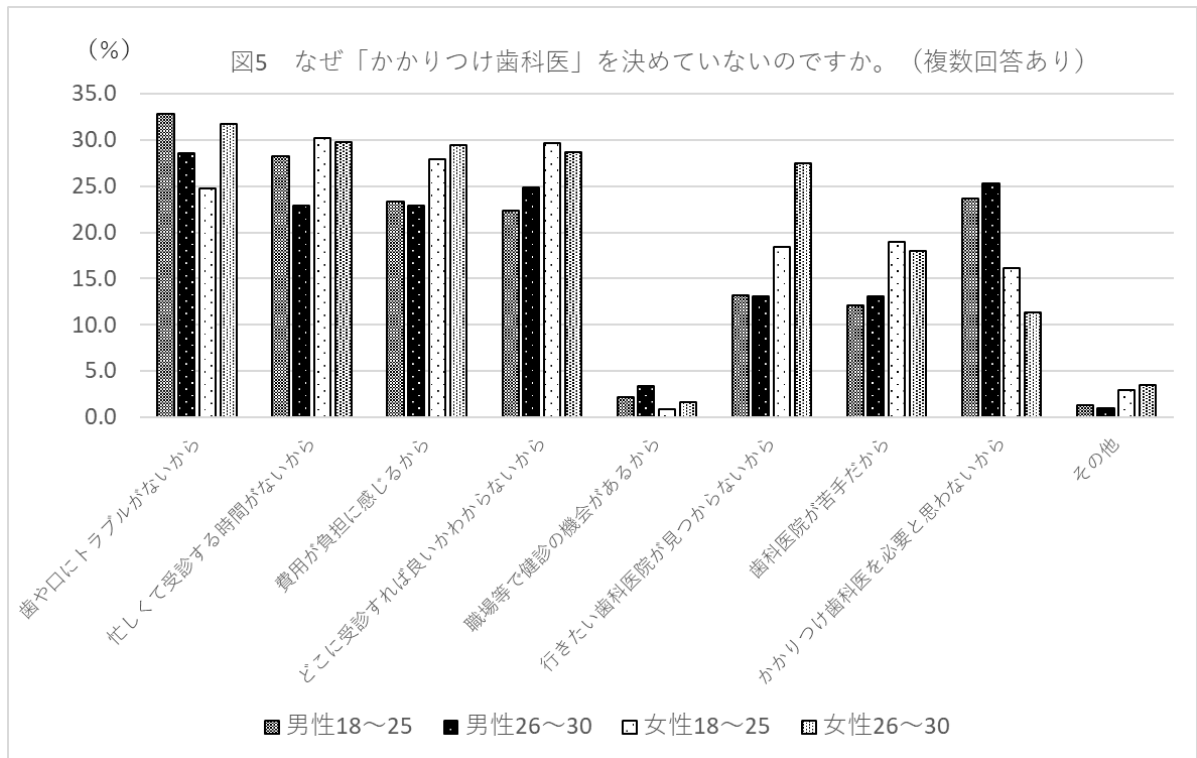
(2) かかりつけ歯科医を決めない理由

表 15・図 5 に、かかりつけ歯科医を決めない理由を示す。「歯や口にトラブルがないから」、「忙しくて受診する時間がないから」、「費用が負担に感じるから」、「どこに受診すれば良いかわからないから」の 4 項目は、全体で約 26～29%であり、「歯や口にトラブルがないから」は男性で若干高かった。「忙しくて受診する時間がないから」、「費用が負担に感じるから」、「どこに受診すれば良いかわからないから」の 3 項目は、約 5 ポイント女性の方が高かった。

また、「行きたい歯科医院が見つからないから」は、女性で高く、特に女性 26～30 歳で 27.5%と他に比べ高かった。

表15 Q4-8 なぜ「かかりつけ歯科医」を決めていないのですか。すべてお選びください。(n=1271)

性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数
人数									
	122	85	207	86	81	167	208	166	374
	105	68	173	105	76	181	210	144	354
	87	68	155	97	75	172	184	143	327
	83	74	157	103	73	176	186	147	333
	8	10	18	3	4	7	11	14	25
	49	39	88	64	70	134	113	109	222
	45	39	84	66	46	112	111	85	196
	88	75	163	56	29	85	144	104	248
	5	3	8	10	9	19	15	12	27
%									
	32.8	28.6	30.9	24.8	31.8	27.7	28.9	30.1	29.4
	28.2	22.9	25.9	30.3	29.8	30.1	29.2	26.1	27.9
	23.4	22.9	23.2	28.0	29.4	28.6	25.6	25.9	25.7
	22.3	24.9	23.5	29.7	28.6	29.2	25.9	26.6	26.2
	2.2	3.4	2.7	0.9	1.6	1.2	1.5	2.5	2.0
	13.2	13.1	13.2	18.4	27.5	22.3	15.7	19.7	17.5
	12.1	13.1	12.6	19.0	18.0	18.6	15.4	15.4	15.4
	23.7	25.3	24.4	16.1	11.4	14.1	20.0	18.8	19.5
	1.3	1.0	1.2	2.9	3.5	3.2	2.1	2.2	2.1



8 フッ化物添加歯磨剤の使用

表 16 に、フッ化物添加(フッ化物入り)歯磨剤の使用について示す。全体でのフッ化物添加歯磨剤の使用状況は約 35%であり、各性・年齢各級による差は数ポイントと小さかった。「歯磨剤は使っているが、フッ素入りかどうかはわからない」は、全体で約 40%であった。

更に、「歯磨剤は使っているが、フッ素入りではない」、「歯磨剤は使っていない」はともに約 13%であった。現状のフッ化物添加歯磨剤の市場での占有率が約 90%であることから、回答者はフッ化物添加歯磨剤への認識が低いのではないかと考えられた。

表16 Q5 歯をみがくとき、フッ素入りの歯磨剤（歯みがき粉等）を使っていますか。

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	
	人数									
	フッ素入りの歯磨剤を使っている	245	205	450	211	177	388	456	382	838
	歯磨剤は使っているが、フッ素入りかどうかはわからない	252	183	435	307	206	513	559	389	948
	歯磨剤は使っているが、フッ素入りではない	69	70	139	99	73	172	168	143	311
	歯磨剤は使っていない	103	65	168	80	55	135	183	120	303
%										
	フッ素入りの歯磨剤を使っている	36.6	39.2	37.8	30.3	34.6	32.1	33.4	36.9	34.9
	歯磨剤は使っているが、フッ素入りかどうかはわからない	37.7	35.0	36.5	44.0	40.3	42.5	40.9	37.6	39.5
	歯磨剤は使っているが、フッ素入りではない	10.3	13.4	11.7	14.2	14.3	14.2	12.3	13.8	13.0
	歯磨剤は使っていない	15.4	12.4	14.1	11.5	10.8	11.2	13.4	11.6	12.6

9 歯口清掃の状況

(1) 丁寧な歯磨きの状況

表 17 に、1 本ずつ丁寧に時間をかけている頻度について示す。「ほぼ毎日」が全体では約 58%で、性・年齢階級間での差は、ほとんどみられなかった。

表17 Q6 歯をみがくときに、1本ずつ丁寧に時間をかけている頻度はどの程度になりますか。

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	
人数	ほぼ毎日	385	298	683	392	309	701	777	607	1384
	週に3~4日	120	93	213	139	78	217	259	171	430
	週に1~2日	76	52	128	73	58	131	149	110	259
	ほとんどない	88	80	168	93	66	159	181	146	327
%	ほぼ毎日	57.5	57.0	57.3	56.2	60.5	58.0	56.9	58.7	57.7
	週に3~4日	17.9	17.8	17.9	19.9	15.3	18.0	19.0	16.5	17.9
	週に1~2日	11.4	9.9	10.7	10.5	11.4	10.8	10.9	10.6	10.8
	ほとんどない	13.2	15.3	14.1	13.3	12.9	13.2	13.3	14.1	13.6

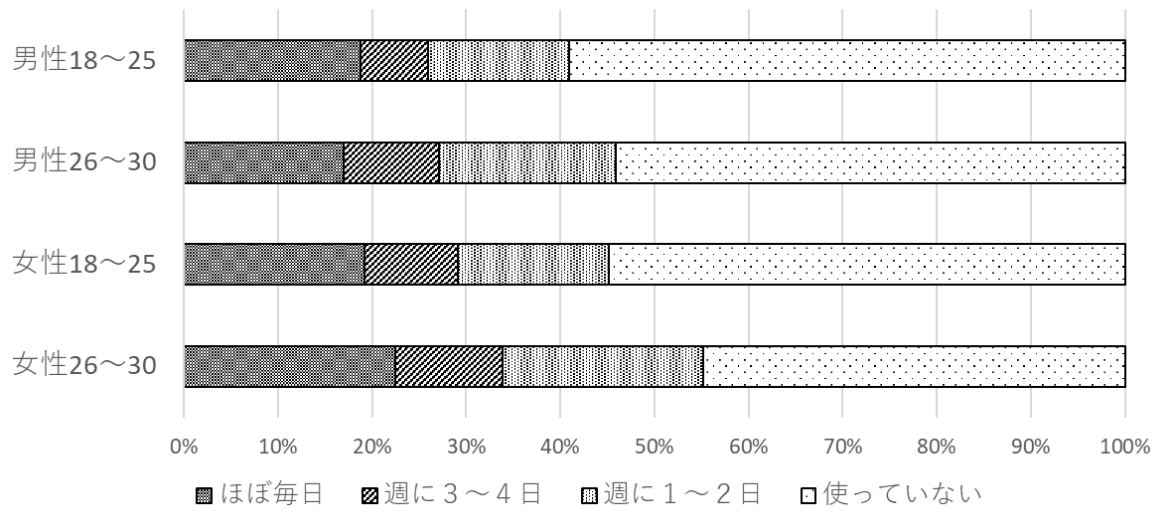
(2) 歯間部清掃の状況

表 18・図 6 に、デンタルフロスや歯間ブラシ(歯間部清掃具)の使用状況を示す。「ほぼ毎日」使用する者は、全体で約 20%であったが、女性が男性より若干高い傾向となった。「使っていない」者は、全体では約 54%で、男性が約7ポイント高かった。また、女性 25~30 歳では約 45%と、他に比べ 10 ポイント以上低かった。

表18 Q7 デンタルフロスや歯間ブラシを使っていますか。

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	
人数	ほぼ毎日	126	89	215	134	115	249	260	204	464
	週に3~4日	48	53	101	69	58	127	117	111	228
	週に1~2日	100	98	198	112	109	221	212	207	419
	使っていない	395	283	678	382	229	611	777	512	1289
%	ほぼ毎日	18.8	17.0	18.0	19.2	22.5	20.6	19.0	19.7	19.3
	週に3~4日	7.2	10.1	8.5	9.9	11.4	10.5	8.6	10.7	9.5
	週に1~2日	14.9	18.7	16.6	16.1	21.3	18.3	15.5	20.0	17.5
	使っていない	59.0	54.1	56.9	54.8	44.8	50.6	56.9	49.5	53.7

図6 デンタルフロスや歯間ブラシを使っていますか



10 歯・口の自己観察状況

表 19 に、歯・口の自己観察状況を示す。全体では、「週に1回以上観察している」者は約35%であり、男性より女性、18～25歳の年齢階級で高い傾向にあった。

表19 Q8 鏡を見て、歯や歯ぐきの様子を自分で観察することがありますか。

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	
人数	週に1回以上観察している	225	161	386	274	175	449	499	336	835
	月に1回以上観察している	164	119	283	174	142	316	338	261	599
	ほとんどない	280	243	523	249	194	443	529	437	966
%	週に1回以上観察している	33.6	30.8	32.4	39.3	34.2	37.2	36.5	32.5	34.8
	月に1回以上観察している	24.5	22.8	23.7	25.0	27.8	26.2	24.7	25.2	25.0
	ほとんどない	41.9	46.5	43.9	35.7	38.0	36.7	38.7	42.3	40.3

11 喫煙状況

表 20 に、喫煙習慣を示す。男性は女性に比べ、「現在、喫煙習慣がある」者の割合が約11ポイント高く、年齢階級では、26～30歳の方が4ポイントほど高い傾向を示した。

表20 Q9-1 喫煙習慣がありますか。(加熱式たばこを含む)

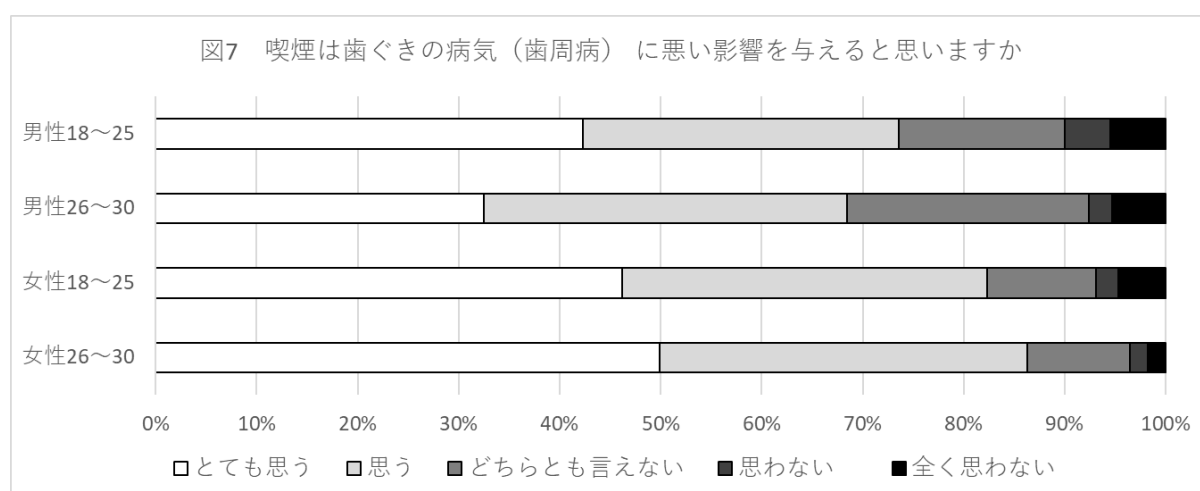
性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	
人数	現在、喫煙習慣がある	106	107	213	39	43	82	145	150	295
	過去に喫煙習慣があったが、やめた	29	50	79	27	32	59	56	82	138
	習慣的に喫煙したことはない	534	366	900	631	436	1067	1165	802	1967
%	現在、喫煙習慣がある	15.8	20.5	17.9	5.6	8.4	6.8	10.6	14.5	12.3
	過去に喫煙習慣があったが、やめた	4.3	9.6	6.6	3.9	6.3	4.9	4.1	7.9	5.8
	習慣的に喫煙したことはない	79.8	70.0	75.5	90.5	85.3	88.3	85.3	77.6	82.0

12 喫煙の歯周病への影響についての意識

表 21・図 7 に、喫煙の歯周病への悪影響を与えるとの意識について示す。悪影響があると思っている者(「とても思う」と「思う」の和)の割合は、男性は約 71%、女性は約 84%と、13 ポイントほど女性の方が高かった。これは、表 20 に示す喫煙率で男性の方が約 11 ポイント高いこととの関連性がうかがわれた。

表21 Q9-2 喫煙は歯ぐきの病気（歯周病）に悪い影響を与えますか。

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	
人数	とても思う	283	170	453	322	255	577	605	425	1030
	思う	209	188	397	252	186	438	461	374	835
	どちらとも言えない	110	125	235	75	52	127	185	177	362
	思わない	30	12	42	15	9	24	45	21	66
	全く思わない	37	28	65	33	9	42	70	37	107
%	とても思う	42.3	32.5	38.0	46.2	49.9	47.8	44.3	41.1	42.9
	思う	31.2	35.9	33.3	36.2	36.4	36.3	33.7	36.2	34.8
	どちらとも言えない	16.4	23.9	19.7	10.8	10.2	10.5	13.5	17.1	15.1
	思わない	4.5	2.3	3.5	2.2	1.8	2.0	3.3	2.0	2.8
	全く思わない	5.5	5.4	5.5	4.7	1.8	3.5	5.1	3.6	4.5



13 糖尿病と歯周病の関係についての意識

(1) 糖尿病の歯周病への影響について

表 22 に、糖尿病が歯周病へ悪影響を与えると思う者の割合を示す。悪影響ありと思う者（「とても思う」と「思う」の和）の割合は、男性は約 57%、女性は約 68%であり、10 ポイントほど女性が高かった。

表22 Q10-1 糖尿病は歯ぐきの病気（歯周病）に悪い影響を与えますか。

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	
人数	とても思う	202	128	330	218	180	398	420	308	728
	思う	202	152	354	255	169	424	457	321	778
	どちらとも言えない	187	190	377	161	133	294	348	323	671
	思わない	43	25	68	43	23	66	86	48	134
	全く思わない	35	28	63	20	6	26	55	34	89
%	とても思う	30.2	24.5	27.7	31.3	35.2	32.9	30.7	29.8	30.3
	思う	30.2	29.1	29.7	36.6	33.1	35.1	33.5	31.0	32.4
	どちらとも言えない	28.0	36.3	31.6	23.1	26.0	24.3	25.5	31.2	28.0
	思わない	6.4	4.8	5.7	6.2	4.5	5.5	6.3	4.6	5.6
	全く思わない	5.2	5.4	5.3	2.9	1.2	2.2	4.0	3.3	3.7

(2) 歯周病の糖尿病への影響について

表 23 に、歯周病が糖尿病に悪影響を与えると思う者の割合を示す。悪影響ありと思う者（「とても思う」と「思う」の和）の割合は、男性は約 52%、女性は約 59%であり、女性で高かった。

表23 Q10-2 歯ぐきの病気（歯周病）は糖尿病に悪い影響を与えますか。

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	
人数	とても思う	180	104	284	184	150	334	364	254	618
	思う	183	153	336	218	163	381	401	316	717
	どちらとも言えない	209	206	415	205	159	364	414	365	779
	思わない	62	30	92	71	32	103	133	62	195
	全く思わない	35	30	65	19	7	26	54	37	91
%	とても思う	26.9	19.9	23.8	26.4	29.4	27.6	26.6	24.6	25.8
	思う	27.4	29.3	28.2	31.3	31.9	31.5	29.4	30.6	29.9
	どちらとも言えない	31.2	39.4	34.8	29.4	31.1	30.1	30.3	35.3	32.5
	思わない	9.3	5.7	7.7	10.2	6.3	8.5	9.7	6.0	8.1
	全く思わない	5.2	5.7	5.5	2.7	1.4	2.2	4.0	3.6	3.8

14 歯周病と全身疾患との関係についての意識

表 24 に、歯周病が関連するとして選んだ全身疾患について示す。関係があると思う疾患は、誤嚥性肺炎が約 42% (男性は約 39%、女性は約 46%) で最も高く、次いで心筋梗塞が約 39% (男性は約 41%、女性は約 38%)、動脈硬化症が約 38% (男性・女性ともに約 38%)、アルツハイマー型認知症が約 34% (男女ともに約 34%) であった。早産・低体重児出産については、全体で約 17% と低く、男性は約 11%、女性は約 22% と、女性が高かった。

表24 Q11 歯周病と関係があると思うものを選んでください。(該当するものを全て選んでください。)

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	
人数	誤嚥性肺炎	283	179	462	325	229	554	608	408	1016
	心筋梗塞	267	222	489	257	199	456	524	421	945
	動脈硬化症	253	200	453	277	183	460	530	383	913
	早産・低体重児出産	78	58	136	131	129	260	209	187	396
	アルツハイマー型認知症	213	188	401	219	192	411	432	380	812
%	誤嚥性肺炎	42.3	34.2	38.8	46.6	44.8	45.9	44.5	39.5	42.3
	心筋梗塞	39.9	42.4	41.0	36.9	38.9	37.7	38.4	40.7	39.4
	動脈硬化症	37.8	38.2	38.0	39.7	35.8	38.1	38.8	37.0	38.0
	早産・低体重児出産	11.7	11.1	11.4	18.8	25.2	21.5	15.3	18.1	16.5
	アルツハイマー型認知症	31.8	35.9	33.6	31.4	37.6	34.0	31.6	36.8	33.8

15 永久歯の喪失状況

(1) 現在歯数

表 25 に、永久歯の現在歯数を示す。男女ともに平均 27.9 本であった。

表25 Q12 あなたの永久歯の数は、現在、何本ですか。 (本)

性・年齢階級	平均	標準偏差	中央値
男性 18～25歳	27.7	7.7	30
男性 26～30歳	28.4	6.8	30
男性 総数	27.9	7.3	30
女性 18～25歳	27.6	6.5	28
女性 26～30歳	28.2	5.6	29
女性 総数	27.9	6.2	28
総数	27.9	6.7	29

(2) 永久歯の喪失経験

ア 永久歯の喪失経験者率

表 26 に、永久歯の喪失経験者の割合(第 3 大臼歯を除く)を示す。全体では約 15%であるが、年齢階級別では、18～25 歳で約 13%、26～30 歳で約 19%と、年齢とともに増加する傾向が示された。

表26 Q13-1 永久歯を失ったことがありますか。(親知らずを除く)

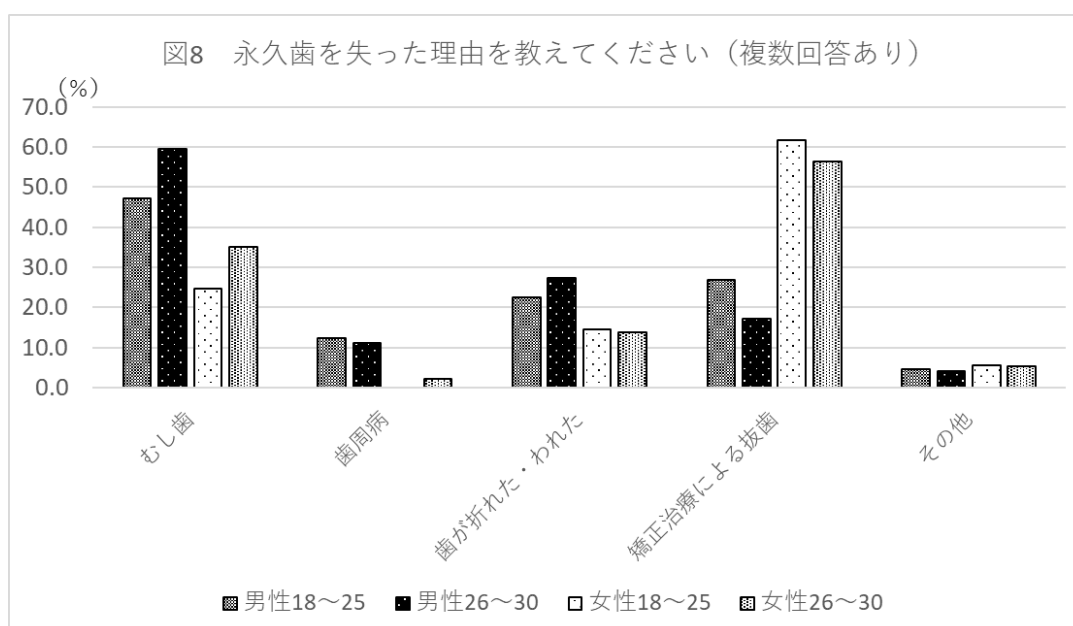
性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数
失ったことがある人数	89	99	188	89	94	183	178	193	371
失ったことがある%	13.3	18.9	15.8	12.8	18.4	15.1	13.0	18.7	15.5

イ 永久歯の喪失理由

表 27・図 8 に、永久歯の喪失理由を示す。「むし歯」が全体では約 42%で最も多く、性・年齢階級別で見ると、男性 26～30 歳が約 60%、男性 18～25 歳が約 47%、女性 26～30 歳約 35%、女性 18～25 歳が約 25%と、性別では男性、年齢は高い方がむし歯を理由とする割合が多い傾向が見られた。次いで多かった「矯正治療による抜歯」は、全体で約 40%、女性は約 59%、男性は約 22%であり、性別では女性、年齢は低い方が矯正治療を理由とする割合が多い傾向が見られた。また、歯の破折は、全体で約 20%、男性で約 25%、女性で約 14%であった。更に、歯周病による抜歯経験は、ほとんどが男性であった。

表27 Q13-2 永久歯を失った原因を教えてください。（該当する項目をすべてお選びください。）（n=371）

性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数
人数									
むし歯	42	59	101	22	33	55	64	92	156
歯周病	11	11	22	0	2	2	11	13	24
歯が折れた・われた	20	27	47	13	13	26	33	40	73
矯正治療による抜歯	24	17	41	55	53	108	79	70	149
その他	4	4	8	5	5	10	9	9	18
%									
むし歯	47.2	59.6	53.7	24.7	35.1	30.1	36.0	47.7	42.0
歯周病	12.4	11.1	11.7	0.0	2.1	1.1	6.2	6.7	6.5
歯が折れた・われた	22.5	27.3	25.0	14.6	13.8	14.2	18.5	20.7	19.7
矯正治療による抜歯	27.0	17.2	21.8	61.8	56.4	59.0	44.4	36.3	40.2
その他	4.5	4.0	4.3	5.6	5.3	5.5	5.1	4.7	4.9

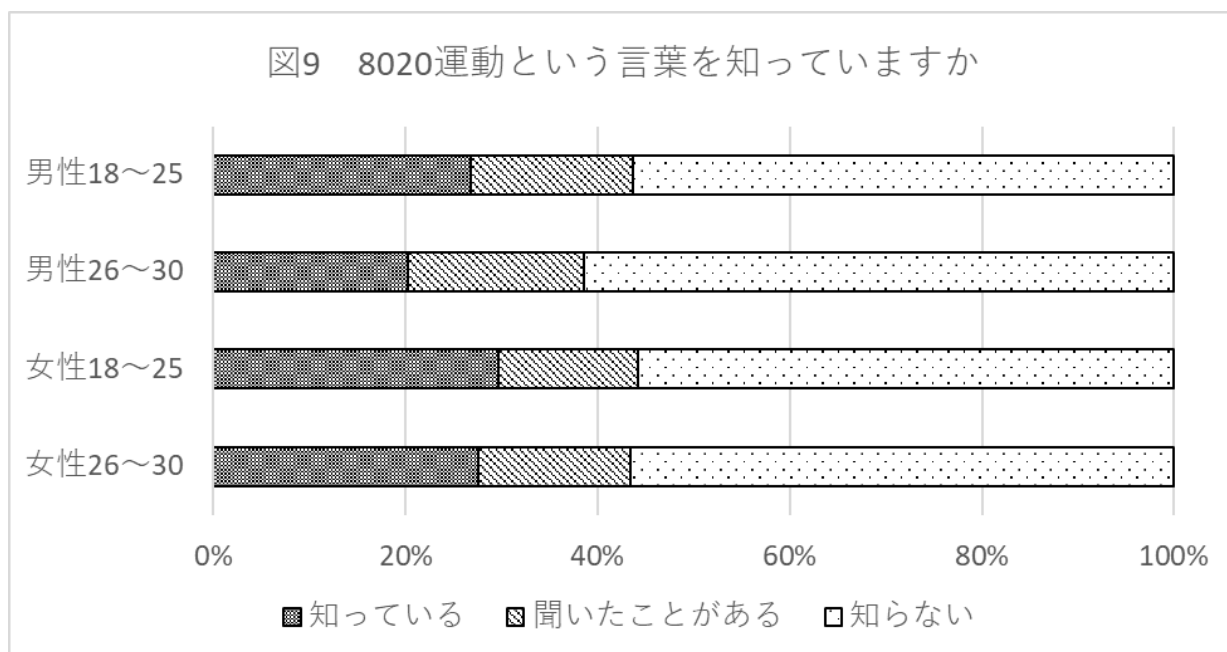


16 8020 の認知度

表 28・図 9 に、8020 運動の認知度を示す。「知っている」者の割合は、全体で約 26%、男性は約 24%、女性は約 29%であった。年齢階級では、18～25 歳が約 28%、26～30 歳が約 24%であった。また、「聞いたことがある」は全体で約 16%であった。

表28 Q14 あなたは「8020（ハチマルニイマル）運動」という言葉を知っていますか

性・年齢階級	男性			女性			総数			
	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	18～25	26～30	総数	
人数	知っている	179	106	285	207	141	348	386	247	633
	聞いたことがある	113	96	209	101	81	182	214	177	391
	知らない	377	321	698	389	289	678	766	610	1376
%	知っている	26.8	20.3	23.9	29.7	27.6	28.8	28.3	23.9	26.4
	聞いたことがある	16.9	18.4	17.5	14.5	15.9	15.1	15.7	17.1	16.3
	知らない	56.4	61.4	58.6	55.8	56.6	56.1	56.1	59.0	57.3



17 よく目にする広告媒体

表29・図10に、よく目にする広告媒体を示す。全体ではテレビが約62%（男性は約59%。女性は約66%）で最も多かった。次いで、ソーシャルメディア関連では、YouTubeが約56%（男女ともに約56%）、Twitterが約51%（男性は約47%、女性は約56%）、Instagramが約50%（男性は約35%、女性64%）、LINEが約47%（男性は約42%、女性は約52%）、Facebookが約6%であった。その他では、車内広告は約20%、ラジオは約10%、新聞は約8%と低かった。

表29 Q15 みなさまが普段、よく目にする広告媒体を教えてください。（全て選んでください。）

性・年齢階級	男性			女性			総数		
	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数	18~25	26~30	総数
	人数								
テレビ	386	313	699	451	345	796	837	658	1495
ラジオ	73	74	147	60	42	102	133	116	249
新聞	65	63	128	36	21	57	101	84	185
LINE	296	201	497	353	270	623	649	471	1120
Twitter	309	245	554	395	284	679	704	529	1233
Instagram	261	158	419	442	334	776	703	492	1195
Facebook	27	53	80	23	41	64	50	94	144
YouTube	389	277	666	410	268	678	799	545	1344
車内広告	128	86	214	156	97	253	284	183	467
その他	9	4	13	5	2	7	14	6	20
%									
テレビ	57.7	59.8	58.6	64.7	67.5	65.9	61.3	63.6	62.3
ラジオ	10.9	14.1	12.3	8.6	8.2	8.4	9.7	11.2	10.4
新聞	9.7	12.0	10.7	5.2	4.1	4.7	7.4	8.1	7.7
LINE	44.2	38.4	41.7	50.6	52.8	51.6	47.5	45.6	46.7
Twitter	46.2	46.8	46.5	56.7	55.6	56.2	51.5	51.2	51.4
Instagram	39.0	30.2	35.2	63.4	65.4	64.2	51.5	47.6	49.8
Facebook	4.0	10.1	6.7	3.3	8.0	5.3	3.7	9.1	6.0
YouTube	58.1	53.0	55.9	58.8	52.4	56.1	58.5	52.7	56.0
車内広告	19.1	16.4	18.0	22.4	19.0	20.9	20.8	17.7	19.5
その他	1.3	0.8	1.1	0.7	0.4	0.6	1.0	0.6	0.8

図10 普段、よく目にする広告媒体を教えてください。(複数回答あり)

